

平成 17 年度 豊後大野市行政コスト計算書

行政コスト計算書は、行政活動の中で大きな比重を占める人的なサービスや給付サービスなどの資産の形成につながらない行政サービスについて、一年間の提供の状況を分野（目的）別・性質別にコスト面から把握し、これらに要した財源の状況を明らかにするための計算書です。

行政コスト計算書の状況

平成 17 年度本市の行政コストは、233 億 9,260 万 2 千円（市民一人当たりになると 54 万 7 千円）であり、目的別では、児童手当、児童扶養手当、生活保護費等が支給されている民生費が最も大きな割合（25.1%）を占めており、農道や林道などの減価償却費の大きい農林水産費（15.0%）、次いで総務費（13.1%）、土木費（12.0%）の順となっています。

また、性質別では、減価償却費、物件費などが含まれる「物にかかるコスト」の占める割合（32.7%）が最も大きく、次いで人件費、退職給与引当金繰入金等などが含まれる「人にかかるコスト」（27.1%）が、以下「移転支的的なコスト」（29.4%）、「その他に係るコスト」（10.8%）の順となっています。

主な目的別の特徴としては、次のとおりです。

[議会費] 行政コストのほとんどが、議員報酬などの「人に係るコスト」で占められています。

[総務費] 三役（市長・助役・収入役）の給与や職員の給与を含む「人に係るコスト」が最も多く、次いで全庁的な経費（水道光熱費、消耗品代）などの「物に係るコスト」となっています。

[民生費] 児童手当支給費、生活保護費、社会福祉施設措置費などの扶助費や、国民健康保険特別会計、老人保健特別会計、介護保険特別会計への

繰出金などの「移転支出的なコスト」が多くを占めています。

[衛生費] 清掃センターや浄化センター等の水道光熱水費や維持補修費等の「物に係るコスト」が最も多く、次いで簡易水道特別会計や公共下水道特別会計繰出金などの「移転支出的なコスト」となっています。

[労働費] 豊肥地区シルバー人材センターへの補助金が多くを占めているため、「移転支出的なコスト」が多くなっています。

[農林水産業費] 土地改良事業や農道整備等の県営事業負担金、各種農業従事者に対する機械購入・施設整備補助金等が多いため「移転支出的なコスト」が多くなっています。

[商工費] 公園、観光施設等の有形固定資産を多く有しているため、これに係る減価償却の割合が多く「物に係るコスト」が多くなっています。

[土木費] 道路橋りょうや公園などの維持管理経費のほか、有形固定資産を多く有しているため、これに係る減価償却費の割合が多く「物に係るコスト」が多くなっています。

[消防費] 人件費が大きく占め「人に係るコスト」が多くなっています。

[教育費] 学校や公民館、文化ホール、記念会館等の維持管理費や、有形固定資産も多く有しているため、これに係る減価償却費の割合が多いため「物に係るコスト」が多くなっています。

[災害復旧費] 災害の多い地域のため毎年このコストが大きくなっています。

用語の説明

(1) 人に係るコスト・・・

「人件費」：議員への報酬や職員への給料などの人件費のうち、退職手当組合負担金を除いた額

「退職給与引当金繰入等」：退職給与引当金として当該年度において新たに繰り入れられた金額

(2) 物に係るコスト・・・

「物件費」：消耗品や委託料などのサービスの提供に必要な消費的性質の経費

「維持補修費」：施設の維持修繕に要する経費

「減価償却費」：年数の経過による有形固定資産の価値の減少分を経費として計上

(3) 移転支出的なコスト・・・

「扶助費」：生活保護や各種手当の支給などに要する経費

「補助金等」：各種団体や公営企業などに対する補助金や負担金

「繰出金」：特別会計に繰出した額のうち、定額運用基金への繰出金を除いた額

「普通建設事業費（他団体への補助金等）」：普通建設事業費のうち他団体に補助金等として支出した金額

(4) その他のコスト・・・

「公債費(利子分のみ)」：地方債及び一時借入金の利子分

「不納欠損額」：時効などにより徴収できなかったし市税や使用料など

「債務負担行為繰入」：債務負担行為で債務保証又は損失補償に係るものうち、平成 17 年度に債務が確定したもの